

山行報告書

受付 No.	204	登山地・ルート	桧尾岳
目的	歩行トレーニング		
メンバー	L : 大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
9・15・土	晴れ	浜松＝菅ノ台＝ 桧尾橋 ～登山口（桧尾尾根）～ 桧尾岳～ 宝剣岳 ～ 千畳敷 6:25 7:17 11:21 14:05 15:00 ＝しらび平＝菅ノ台＝浜松
. .		

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

天気は良好。6時の始発のバスに、5時半前から列ができていた。1台目のバスに乗れず、2台目のバスは5分後くらいにきた。途中下車の場合は、降りるときに運賃を払う。桧尾橋までは400円。降りてから、林道沿いに歩いていくと、広場があり、整備された階段が続いていた。登山口の標識がないのには疑問を感じたものの、そのままその階段を上って行った。整備された登山道が続き、登山道なのにコンクリートのトンネルまである。途中、サルなどもいる。しかし、道はずっと水平道で、おかしいと思いつつ、楽なのでそのまま進む。しかし地形図を見ると、登山口から尾根を直登している。やっぱりおかしいと戻ったときには25分経過。往復で50分くらいロスする。本当の登山道は、林道をもう少し上がったところにあり、古びた登山口の標識があった。やっぱり地図は1/25000地形図を持っていかなくてはならないと思った。(今回は『山と高原地図』)

気を取り直して登山道を上る。斜面を大きくジグザグに登って尾根に乗り、樹林帯を3ピッチほど登ったところで森林限界にひょいと出て、桧尾岳のピークも姿を現す。桧尾岳からは稜線を進むが、風が強かった。冷たい風ではないが、とにかく強風。ガスってきて視界もない。快適な稜線歩きにはほど遠い感じ。しかもアップダウンも3回ほど繰り返し、なんとか宝剣岳と千畳敷の分岐までくる。宝剣岳の岩場は初体験だったが、岩場を越えてこちらにやってくる人もいる。負けていられるかと進むが、すれ違ったひとが、「こっちから行くのはいやだよねえ～」と言っている。これから行く人がいるのに、なんて無神経な言葉だと心の中で憤慨しつつ、少し不安になる。しかし、岩場には、これでもかというほどに手がかり足がかりが人工的に付けられていて、無事に山頂へ。そこから馬の背へ下り、乗越から千畳敷へと下る。あとはロープウェイでのんびりと下山し、温泉とソースカツ丼で山行をしめくくった。



紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----